

### 〔3〕 屋外施設

スポーツ部所管の屋外体育施設としては、夏季スポーツ用として15施設、冬季スポーツ用として6施設（円山競技場の冬季開設される円山スケート場を含む）があり、長い歴史を持つ施設が多い。

円山総合運動場は、昭和9年に現施設の原型である競技場・野球場・庭球場の3施設からなる「市立総合運動場」として建設され、昭和29年に補助競技場も完成し、その年の第9回国民体育大会の中心舞台となった。その後、数度の大改修を経て現在の形態となった。

美香保公園野球場は、昭和26年にはすでに野球場が整備されていたが、昭和29年の国体に合わせラグビー場が作られ、そのラグビー場の場所には昭和45年にオリンピックのため美香保体育館が建設され、現在の形になった。

月寒屋外競技場は、かつて月寒運動広場として昭和37年から野球・ラグビー・サッカーができる球技場と庭球場が整備されていたが、昭和46年にオリンピックのため月寒体育館が建設された後、昭和54年に現在の庭球場、63年にラグビー場と弓道場が完成した。

中島公園には、戦前から庭球場や製氷場を改修したプールがあり、硬式野球ができる野球場もあるなど一大運動公園だった。庭球場は、その後、増改築を経て現在に至っているが、野球場は昭和55年に、プールは平成8年に廃止された。

麻生球場は、中島野球場に代わる施設として昭和55年に建設され、58年には球場敷地内に庭球場が建設された。

厚別公園競技場は、第44回国民体育開会主会場として昭和61年に建設された。

東雁来公園サッカー場は、平成20年11月に完成し、平成21年に行われた全国健康福祉祭（ねんりんピック）北海道大会のサッカー交流大会の会場として使用された。

冬季スポーツ用施設は、スキージャンプ場4カ所、スキー距離競技場などおもに競技用として作られた施設であるが、大倉山ジャンプ競技場は観光用として一般開放を行うことや、白旗山競技場は歩くスキーコースとして一般開放されている。また、白旗山競技場は夏季にサッカー場として平成10年8月に供用開始している。

#### 1 野球場

スポーツ部所管の野球場は、円山球場、麻生球場、美香保公園野球場（3面）の3施設5面からなる。いずれも長い歴史と伝統があり、市民に親しまれている。

##### 《3球場比較》

区分	円山球場	麻生球場	美香保A	美香保B	美香保C
両翼	98m	92m	82m	84m	80m
センター	117m	111m	96m	94m	85m
収容人員	25,000人	12,000人	50人程度	50人程度	50人程度

##### 《利用状況》

年度	円山球場	麻生球場	美香保（3面）	3施設合計
平成24年度	305試合	320試合	1,131試合	1,756試合
	28,918人	30,592人	37,614人	97,124人
平成25年度	320試合	293試合	1,137試合	1,750試合
	37,189人	23,949人	36,922人	98,060人
平成26年度	332試合	295試合	1,137試合	1,764試合
	33,774人	23,434人	36,354人	93,532人

## ア 円山球場

昭和 10 年 7 月の開場（昭和 9 年竣工）以来、本市のみならず本道野球界の聖地として君臨している。昭和 47 年から 49 年の大改修工事で現在の形に生まれ変わった。プロ野球、社会人野球、高校野球と主に硬式野球の試合に使用されているが、空いている日は一般市民に開放されている。

平成 9 年度から大改修を実施し、平成 9 年度には、身障者対応（エレベーター、トイレ、車椅子専用席 10 席分）や内野スタンドの一部改修を行い、平成 10 年度には 1 塁、3 塁側スタンドのベンチ取替と、グラウンド整備（土と芝の取替）を行った。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮ヶ丘・宮の森
- 電話 641-3015
- 敷地面積 35,313 m<sup>2</sup>
- 建物構造 本館 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建一部 3 階建
- 建物延面積 3,588.60 m<sup>2</sup>  
 （内訳） 本館等 3,511.84 m<sup>2</sup> 便所 76.76 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

年度 \ 区分	試合数	利用者数	観客入場者数
平成 24 年度	305 試合	28,918 人	115,349 人
平成 25 年度	320 試合	37,189 人	114,745 人
平成 26 年度	332 試合	33,774 人	118,656 人

## イ 麻生球場

昭和 55 年 8 月、31 年間にわたり幾多の歴史を刻んだ中島球場に代わる施設として開設された。支柱のないバックネットや車椅子のまま入れる外野スタンド、ラバー張りのフェンスやダッグアウトの防護など観客の見やすさと選手の危険防止を考慮した近代的な球場である。高校野球等硬式野球のほか一般市民に開放されている。

### 《施設概要》

- 所在地 北区麻生町 7 丁目
- 電話 736-1461
- 敷地面積 35,662.41 m<sup>2</sup>
- 建物構造 本館・内野スタンド 鉄筋コンクリート造 2 階建
- 建物延面積 2,982.67 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

年度 \ 区分	試合数	利用者数	観客入場者数
平成 24 年度	320 試合	30,592 人	63,161 人
平成 25 年度	293 試合	23,949 人	64,435 人
平成 26 年度	295 試合	23,434 人	49,484 人

## ウ 美香保公園野球場

昭和26年8月から市民に親しまれている軟式野球場で、幾多の変遷を経て昭和45年の美香保体育館完成後、現在の形態になった。3面が相互に隣接しており、多チームによる大会によく使用されている。B球場には夜間照明設備があり、A・B球場にはバックネット後方に簡易スタンドがある。平成14年から平成16年にはグラウンド面及びフェンスの改修を行った。

### 《施設概要》

- 所在地 東区北21～22条東4～5丁目
- 電話 741-1972
- 敷地面積 25,377.00㎡
- 建物構造 野球場管理事務所 木造 平屋建  
本部席 鉄骨造 平屋建  
更衣室 軽量鉄骨造 平屋建  
グラウンドハウス 木造 平屋建
- 建物延面積 206.99㎡  
(内訳) 管理事務所 67.76㎡ 本部席 38.88㎡  
更衣室 39.83㎡ グラウンドハウス 60.52㎡

### 《利用状況》

年度	区分 A球場	B球場		C球場	3球場合計
			内ナイター		
平成24年度	373 試合 12,405 人	407 試合 13,536 人	86 試合 2,580 人	351 試合 11,673 人	1,131 試合 37,614 人
平成25年度	397 試合 12,770 人	408 試合 13,440 人	101 試合 2,880 人	332 試合 10,712 人	1,137 試合 36,922 人
平成26年度	404 試合 12,650 人	413 試合 13,240 人	107 試合 3,010 人	320 試合 10,464 人	1,137 試合 36,354 人

## 2 庭球場

スポーツ部所管の庭球場は、円山総合運動場、中島公園、月寒屋外競技場、麻生、スポーツ交流施設の5か所に28面ある。そのうち、円山庭球場12面が人工クレーコート、中島公園庭球場6面がアンツーカーコート、月寒屋外競技場庭球場4面と麻生庭球場2面がアスファルトコート、スポーツ交流施設庭球場4面が砂入り人工芝である。また、円山庭球場、中島公園庭球場とスポーツ交流施設庭球場には夜間照明設備がある。円山庭球場がソフトテニスに専用使用されている以外は主として硬式テニスに使用されている。

### 《利用状況》

年度	区分 円山庭球場	中島公園庭球場	月寒庭球場	麻生庭球場	スポーツ交流 施設庭球場	総計
コート数	12面	6面	4面	2面	4面	28面
平成24年度	49,168人	81,139人	5,088人	2,264人	9,953人	147,612人
平成25年度	57,598人	79,322人	4,896人	1,922人	10,585人	154,323人
平成26年度	58,297人	79,547人	6,813人	1,965人	10,698人	157,320人

## ア 円山庭球場

昭和9年竣工の「市立総合運動場」(現円山総合運動場)開設当時は、クレーコートが4面だったが、昭和34年に排球場兼用コート4面増設、57年に4面増設(夜間照明設備あり)している。また、平成23年に人工クレーコートに改修工事を実施した。

昭和29年の第9回国民体育大会の庭球会場にもなり、その後の各種大会に使用されている。運営本部室、約1,350人収容できるブロックスタンドがある。現在は、ソフトテニスに専用使用されている。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮の森
- 電話 641-3015
- 敷地面積 20,519.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 運営本部 鉄骨造(プレハブ) 平屋建
- 建物延面積 126.28 m<sup>2</sup>  
(内訳) 運営本部 61.08 m<sup>2</sup> 物品庫 65.20 m<sup>2</sup>

## イ 中島公園庭球場

昭和29年の第9回国民体育大会の庭球会場として、当時、北海道初のアンツーカーコート4面を開設した。昭和44年に2面増設しその後夜間照明設備を敷設した。管理事務所、約1,500人収容可能なブロックスタンドがある。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区南15条西4丁目
- 電話 531-5163
- 敷地面積 6,144.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 管理事務所 木造モルタル 2階建
- 建物延面積 262.78 m<sup>2</sup>  
(内訳) 管理事務所 242.95 m<sup>2</sup> 物置 19.83 m<sup>2</sup>

## ウ 麻生庭球場

昭和58年3月に麻生球場敷地内に作られたアスファルトコート2面の庭球場。  
平成23年に改修工事を実施した。

### 《施設概要》

- 所在地 北区麻生町7丁目
- 電話 736-1461
- 敷地面積 1,490.00 m<sup>2</sup>

## エ 月寒屋外競技場庭球場

昭和54年6月に完成したアスファルトコート4面の庭球場。スポーツ教室も行われる一般市民用コート。  
平成23年に改修工事を実施した。

### 《施設概要》

- 所在地 豊平区月寒1条8丁目
- 電話 851-1972
- 敷地面積 2,304.00 m<sup>2</sup>

## オ スポーツ交流施設庭球場

平成9年にオープンした砂入り人工芝コート4面の庭球場。

### 《施設概要》

- 所在地 東区栄町885番地1
- 電話 784-2106
- 敷地面積 2,886.00㎡

## 3 その他夏季スポーツ施設

### ア 厚別公園競技場

昭和61年11月に完成し、昭和62年全国高校総合体育大会を開催し、平成元年の第44回国民体育大会主会場となった。現在は、北海道唯一の第1種公認陸上競技場である。また、平成8年からはプロサッカー（Jリーグ）のコンサドーレ札幌のホームスタジアムとして使用されている。

観客収容数は、メインスタンドに6,412人、バックスタンドに4,823人、右サイドスタンドに4,842人、左サイドスタンドに4,784人の合計20,861人（※Jリーグ時の観客席数は20,005人）。

平成26年5月から12月にかけて主競技場のトラック表層改修（ウレタン舗装、アスファルト舗装の更新）を行った。

### 《施設概要》

- 所在地 厚別区上野幌3条1丁目
- 電話 894-1144
- 敷地面積 131,332.00㎡（※厚別公園（厚別公園補助競技場等を含む）としての面積）
- 建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階建一部3階建
- 建物延面積 5,446.16㎡（※厚別公園内設置便所及び車庫を含む）  
 （内訳） 本館等 5,344.73㎡ 便所 71.58㎡ 車庫 298.85㎡

### 《利用状況》

年度	区分	個人練習者数①	競技会等利用者数②		総利用者数①+②
				使用日数	
平成24年度		26,858人	39,849人	74日	66,707人
平成25年度		30,692人	39,081人	68日	69,763人
平成26年度		24,171人	28,938人	32日	53,109人

### イ 厚別公園補助競技場

厚別公園競技場の補助グラウンドとして主競技場と併せて整備された。クレイ舗装トラック1周400m6コース、全天候舗装110m3コース及び芝生フィールドがあり、サッカーやレクリエーションなどに利用されている。

平成26年5月から12月にかけて、補助競技場のトラック全天候型舗装改修（ウレタン舗装、アスファルト舗装、路盤の全断面工事）を行った。

### 《施設概要》

- 所在地 厚別区上野幌3条1丁目
- 電話 894-1144

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	5,049人	4,714人	0人

## ウ 円山競技場

昭和9年竣工の「市立総合運動場」開設当時から本市及び本道の陸上競技の桜舞台として、また円山総合運動場の中心施設として、数々の歴史を刻んできた本市の代表的施設である。公式競技大会や市民レベルの大会が開催されるのはもとより、個人練習にも開放され、フィールドはサッカーやアメリカンフットボールにも使用される。また、冬季間は、スケート場としても利用されている。平成9年度にメインスタンドの芝生席を椅子席に改修し会議室等を増築した。

昭和29年の第9回国民体育大会ではメイン会場となったほか、同年1月には世界スピードスケート選手権大会が開催された。昭和57年に大改修され、全天候型グラウンド（第2種公認陸上競技場）として生まれ代わり、その後も平成8年に会議室の増築などの大改修を行っている。観客収容数は、メインスタンドに2,500席、バックスタンド盛土に9,500人の合計12,000人。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮ヶ丘・宮の森
- 電話 641-3015
- 敷地面積 47,800.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 本館～ 鉄筋コンクリート造 地上2階建一部3階建
- 建物延面積 2,236.02 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本館等 2,068.23 m<sup>2</sup> 便所 167.79 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

年度	区分	個人練習者数①	競技会等利用者数②		総利用者数①+②
				使用日数	
平成24年度		16,135人	79,995人	177日	96,130人
平成25年度		16,438人	80,206人	165日	96,644人
平成26年度		17,171人	87,239人	173日	104,410人

## エ 円山補助競技場

昭和29年の第9回国民体育大会に合わせ、陸上競技場の補助グラウンドとして新設された。1周250mのシンダー走路及びバックネット設備があるので運動会やソフトボールなどに利用されている。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮の森2条14丁目
- 電話 641-3015
- 敷地面積 6,105.00 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	6,859人	7,613人	6,106人

## オ 月寒屋外競技場弓道場

昭和62年11月に隣接するラグビー場とともに新設された。弓道・アーチェリー併用の90m級の10的あり、学生を中心に利用されている。スポーツ部所管では唯一の屋外弓道場である。

### 《施設概要》

- 所在地 豊平区月寒東1条8丁目
- 電話 851-1972
- 敷地面積 3,000.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 更衣棟 鉄骨造 平屋建
- 建物延面積 更衣棟 148.30 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	2,054人	1,892人	1,905人

## カ 月寒屋外競技場ラグビー場

昭和62年11月に完成し、平成元年の第44回国民体育大会のラグビー競技主会場となった。メイン・バックスタンドに3,545人、ゴール裏芝生に1,170人の合計4,715人の観客収容能力があり、よく整備された芝グラウンドであることから、大学・社会人・国際試合など国内トップレベルの試合が毎年行われている。

### 《施設概要》

- 所在地 豊平区月寒東1条8丁目
- 電話 851-1972
- 敷地面積 21,949.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 メインスタンド 鉄筋コンクリート造 地上3階建
- 建物延面積 1,078.50 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本館等 1,027.00 m<sup>2</sup> 便所 51.50 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	11,410人	13,062人	8,272人

## キ 東雁来公園サッカー場

平成20年11月に完成し、平成21年に行われた全国健康福祉祭(ねんりんピック)において、サッカー交流大会の会場となった。人工芝サッカー場が2面整備されており、異なる種類の人工芝が採用されている。

### 《施設概要》

- 所在地 東区東雁来12条4丁目
- 電話 791-9900 (札幌サッカーアミューズメントパーク)
- 敷地面積 34,135 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	52,543人	64,874人	58,899人

## 4 冬季スポーツ関連施設

### ア 大倉山ジャンプ競技場

昭和45年11月、札幌オリンピックに向けて旧大倉ジャンツェを大改修して建設された。オリンピック時には90m級ジャンプ（現在のルールでは、「ラージヒル」）が行われ、その後も毎年FIS（国際スキー連盟）ワールドカップをはじめとする国際大会が数多く開催される世界的にも名高いラージヒル・ジャンプ競技場である。また、年間を通じて観光客が訪れる本市の観光名所ともなっている。

昭和61年には、FISのルール改正に伴い、ランディングバーンとカンテの改修を行い、平成2年には電光掲示板システム整備を行った。

なお、この競技場は、平成6年度まで国立競技場として日本体育・学校健康センター（現独立行政法人日本スポーツ振興センター）が運営していたが、平成7年3月31日、同センター所有のジャンプ台本体、審判塔、運営本部等が本市に譲渡された。

また、大倉山のもつ魅力をより一層高めるためにジャンプ台の全面改修及びジャンプ競技場周辺整備を行っており、平成8年度にジャンプ台本体が完成し、平成9年度には、サマーヒル化を終え、平成11年度に運営本部棟及び札幌ウインタースポーツミュージアムが完成している。現在のバッケンレコードは146mで、平成24年1月21日の第39回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会で伊東大貴選手が記録している。

2007年2月22日～3月4日にはアジアで初となるFISノルディックスキー世界選手権が札幌で開催され、同期間中ラージヒル・ジャンプ競技の会場となった。

#### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮の森1274番地外
- 電話 641-1972
- 敷地面積 87,322.20㎡
- 建物構造
  - 運営本部棟～ 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階建
  - ミュージアム棟～ 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建
  - スタートハウス棟～ 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建
  - エスカレーター棟～ 鉄骨造 地上2階建
  - 審判塔～ 鉄骨造 地上4階建
- 建物延面積 8,658.19㎡
  - (内訳) 運営本部 2,730.00㎡      ミュージアム棟 5,034.43㎡
  - スタートハウス棟 284.70㎡      エスカレーター棟 255.78㎡
  - 審判塔 353.28㎡

#### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	337,479人	373,462人	394,662人

## イ 宮の森ジャンプ競技場

大倉山ジャンプ競技場と同様、昭和45年11月、札幌オリンピックに向けて新設された競技場で、オリンピック時には70m級ジャンプ（現在のルールでは、「ノーマルヒル」）が行われ、笠谷選手以下3本の日の丸が揚がった記念すべき競技場である。当初70mジャンプ台は大倉山に併設する構想だったが、敷地が狭いため隣接地に建設された

昭和58年の全面改修で、プラスチックジャンプ台となり通年使用が可能になり、また、夜間照明設備やリフトも設置され競技力向上に大きく寄与している。冬季間F I S公認大会等が開催されるほか、真夏に札幌市長杯サマージャンプ大会なども開催されている。現在のバッケンレコードは104mで、平成24年1月7日の第53回雪印メグミルク杯 全日本ジャンプ大会で栃本翔平選手が記録している。

2007年F I Sノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催に合わせ平成17年度から18年度にかけて改修工事を実施し、2007年2月22日～3月4日にアジアで初となるF I Sノルディックスキー世界選手権が札幌で開催され、同期間中ノーマルヒルジャンプ競技の会場となった。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮の森1条18丁目外
- 電話 642-1972
- 敷地面積 41,794.26 m<sup>2</sup>
- 建物構造 運営本部棟～ 木造 3階建
- 建物延面積 664.31 m<sup>2</sup>  
(内訳) 運営本部 436.41 m<sup>2</sup> 審判台 106.63 m<sup>2</sup> 他 121.27 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	31,668人	32,951人	27,185人

## ウ 荒井山シャンツェ

荒井山は、大倉山と並び本市ジャンプ台発祥の地であり、昭和4年に最初の台が作られた。その後の変遷を経て、平成13～15年の改修整備でK点55mとK点25mのジャンプ台に造成し直し、両ジャンプ台ともサマーヒル化を行い、平成15年11月にリニューアルオープンした。主に小中学生に利用されている。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮の森902番地外
- 電話 なし
- 敷地面積 7,299 m<sup>2</sup> (借地面積3,979 m<sup>2</sup>を含む)
- 建物構造
  - ロッジ棟～ 鉄筋コンクリート造 2階建
  - 飛型審判棟～ 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
  - ポンプ棟～ 鉄筋コンクリート造 平屋建
  - スロープカー車庫～ 鉄骨造 平屋建
- 建物延面積 254.78 m<sup>2</sup>  
(内訳)
 

ロッジ棟	156.00 m <sup>2</sup>	飛型審判棟	29.16 m <sup>2</sup>	ポンプ棟	7.50 m <sup>2</sup>
スロープカー車庫	20.00 m <sup>2</sup>	車庫	42.12 m <sup>2</sup>		

## エ 手稲山シャンツェ

平成 11 年 12 月、本市 2 番目のスモールヒルジャンプ台（K 点 30m）として、テイネオリンピック聖火台ゲレンデ横に建設した。

### 《施設概要》

- 所在地 手稲区手稲本町 593 番 17 外
- 電 話 なし
- 敷地面積 6,858 m<sup>2</sup>（借地面積 5,639 m<sup>2</sup>を含む）
- 建物構造 管理棟 プレハブ 2階建
- 建物延面積 65.48 m<sup>2</sup>

## オ 白旗山競技場(白旗山競技場サッカー場)

本格的なスキー距離競技場として、平成元年 8 月に工事着工し平成 2 年 12 月に完成した。この間、第 1 期工事が終了していた平成 2 年 3 月の第 2 回冬季アジア競技大会で使用されたのがこけら落としとなり、翌年 3 月のユニバーシアード冬季大会でも競技会場となった。全長 25 km の起伏に富んだコースは、アジア初の FIS 公認コースであり、ワールドカップも行われ、2007 年 2 月 22 日～3 月 4 日にはアジアで初めて開催された FIS ノルディックスキー世界選手権の会場となっている（ノルディック複合は平成 6 年 3 月と 7 年 3 月、クロスカントリーは 7 年 3 月）。

また、一般市民の歩くスキーコースに開放されているほか、発着場にサッカー等が可能な芝生グラウンドを整備し、平成 10 年 8 月供用開始している。芝生グラウンドの外周には、クロスカントリースキー選手の夏場のトレーニング用としてローラースキーコースを設置、平成 11 年度には、サッカー場の夜間利用を目的として夜間照明設備を設置した。

### 《施設概要》

- 所在地 清田区真栄 502 番地 1
- 電 話 884-9355
- 敷地面積 85,198.09 m<sup>2</sup>
- 建物構造 運営本部～ 鉄骨造地階鉄骨コンクリート造 地上 2 階地下 1 階建
- 建物延面積 1,269.26 m<sup>2</sup>  
(内訳) 運営本部 839.23 m<sup>2</sup> 更衣室棟 295.00 m<sup>2</sup> 車庫 135.03 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利 用 者 数	23,414 人	21,280 人	22,295 人

## カ 円山スケート場

円山競技場のフィールドを冬季間の自然凍結により1周約200mのスケートリンクに造成したスケート場。昭和29年には世界スピードスケート選手権を開催した歴史がある。

### 《施設概要》

- 所在地 中央区宮ヶ丘・宮の森
- 電話 641-3015
- 敷地面積 47,800.00 m<sup>2</sup>
- 建物構造 本館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階建一部3階建
- 建物延面積 2,236.02 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本館等 2,068.23 m<sup>2</sup> 便所 167.79 m<sup>2</sup>

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	9,332人	9,820人	7,017人

## 5 スポーツ交流施設

スポーツ等を通して市民の交流の促進を図ることにより、市民の健康増進及び市民文化の向上に資するため、新たにコミュニティドーム（愛称「つどーむ」）を中核施設としその周辺に球技場、テニスコート、ふれあい広場などの屋外施設も整備した札幌市スポーツ交流施設を平成9年6月15日にオープンした。

屋根付き人工芝の全天候型施設のコミュニティドームは、軟式野球では両翼81m・センター101m、サッカーでは56m×80mの面積がとれ、テニスでは8面、フットサルでは4面使用できる。ゲートボールやグラウンドゴルフなどのニュースポーツも可能なほか、集会、式典や展示会での使用も可能である。アリーナの人工芝については、平成17年度に札幌ドームの人工芝を転用して全面張替えを行った。また、トレーニング室・ランニングコースも設置しているほか、スポーツ大会やイベント用の設備として、会議室・放送室・特別室も完備している。

屋外施設の球技場は、平成21年10月にクレーコートからアスファルトコートとして再整備し、ペタンクやラクロス等のニュースポーツやスケートボード等のストリートスポーツのほか運動会等に使用できる。テニスコートは、砂入り人工芝コート4面で夜間照明設備を設置している。さらに屋外施設には、ふれあい広場やちびっこ広場があるほか、平成10年にはパークゴルフコースも完成し8月にオープンした。

単にスポーツだけではなく、レクリエーションや各種イベントに対応できるようにしたこれまでにない複合的な施設である。

### 《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	816,990人	837,524人	913,782人

## 6 藤野野外スポーツ交流施設

札幌の豊かな自然フィールドを活用した札幌型地域スポーツクラブのモデル（野外系）として、Sports Club Sapporo（スポーツクラブサッポロ）を平成13年に立ち上げ、札幌らしいスポーツコミュニケーションの創造と発信を行い、新しいスポーツライフの普及を目指すこととし、その活動拠点となる自然体験型の通年施設として平成13年12月27日に藤野野外スポーツ交流施設をオープンした。（Sports Club Sapporoは平成23年3月に解散）

当施設は、冬季オリンピック札幌大会の練習コースとして設置されたリュージュ競技場を含む33haからなる。リュージュ競技場では、平成4年1月にはジュニアワールドカップ及びジュニア世界選手権大会が開催され、長野県のボブスレー・リュージュ競技場（スパイラル）設置以前は、アジア唯一のリュージュコースであった。また、3基のリフトを備えるゲレンデにはスキーコースが6つあり、最長のコースは1,800m、最大斜度は38度であるなど、ウィンタースポーツの初心者から上級者まで楽しむことができる。

《利用状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	779,117人	818,350人	821,545人

《券種別利用人員状況》

券種	区分	発券枚数		
		24年度	25年度	26年度
1回券	大人	2,386	3,041	2,596
	小人	1,250	1,644	1,536
12回券	大人	1,276	1,344	1,462
	小人	464	489	538
3時間券	大人	7,451	8,042	7,518
	小人	3,571	4,071	3,964
4時間券	大人	1,344	2,572	2,647
	小人	763	916	938
6時間券	大人	1,129	1,348	1,455
	小人	506	698	797
1日券	大人	55	95	211
	小人	40	71	99
ナイター券	大人	2,081	2,405	2,407
	小人	1,106	1,293	1,462
ナイター一律券 (H19から)	大人	3,183	3,639	3,472
	小人	926	1,301	1,308
シーズン券	大人	22	21	66
	高校	7	3	8
	小人	25	30	30
ナイターシーズン券	大人	11	11	25
	小人	19	16	19
大人(高校生含む)小計		18,945	22,521	21,867
小人小計		8,670	10,529	10,691
減額・免除		4,740	6,881	5,401
無料幼児		-	-	-
団体/特別料金(H20から)		18,344	16,805	17,196
合計		50,699	56,736	55,155

《リ्यूージュ競技場利用人員状況》

	24年度	25年度	26年度
利用者数	1,079人	1,077人	256人

《夏季フィールド利用人員状況》

	24年度	25年度	26年度
利用者数	8,444人	7,232人	7,840人

《索道輸送人員(延人数)状況》

区分	平成24年度			
	第1ペア	第1ロマンス	第2ロマンス	合計
大人	128,552人	174,817人	92,569人	395,938人
小人	113,318人	139,219人	76,091人	328,628人
幼児・免除	14,749人	20,367人	9,912人	45,028人
小計	256,619人	334,403人	178,572人	769,594人
区分	平成25年度			
	第1ペア	第1ロマンス	第2ロマンス	合計
大人	136,276人	185,843人	100,249人	422,368人
小人	119,463人	139,879人	79,381人	338,723人
免除	16,920人	21,686人	10,344人	48,950人
小計	272,659人	347,408人	189,974人	810,041人
区分	平成26年度			
	第1ペア	第1ロマンス	第2ロマンス	合計
大人	137,372人	172,994人	104,648人	415,014人
小人	119,588人	133,991人	78,099人	331,678人
免除	22,550人	29,734人	14,729人	67,013人
小計	279,510人	336,719人	197,476人	813,705人

## 7 札幌ドーム

一年を通じて天候に左右されない大規模イベント施設として、平成13年6月2日、豊平区羊ヶ丘に札幌ドームをオープンした。

札幌ドームでは、2002年FIFAワールドカップサッカー大会の会場として3試合が開催されたほか、プロ野球やプロサッカー、コンサート、展示会や見本市などさまざまな大規模イベントが開催されている。地上4階地下2階建て、延床面積98,232㎡、最大収容人数約54,000人の全天候型の大規模多目的施設であり、札幌の新しい情報・文化の発信基地となっている。

札幌ドームの最大の特徴は、天然芝によるサッカーと人工芝による野球の両立を可能にした世界初の芝転換システムである。普段は、天然芝のサッカー場を屋外で養生し、試合時には、空気圧により浮上させたホヴァリングサッカーステージをドーム内に引き入れて使用する。

札幌ドームには、通年営業のレストランやグッズショップのほか、イベント開催時のみに営業する売店がドーム内コンコースに面して22店舗設けられている。さらに、国内のドームとしては初めて、ドーム内と市内の両方を一望できる高さ約53mの展望台が設けられている。

ドームの敷地内は、自然と都市機能の調和を目指した「スポーツの庭づくり」をコンセプトとして設計され、建築物や駐車場を除く敷地は緑地帯となっており、ドームの周囲を散策路が巡り「アートグローブ」と呼ばれる24の芸術作品が配置されている。敷地内は、一般開放ゾーンとなっているので、イベントのない日でも羊ヶ丘の丘陵地帯を望みながら散策を楽しむことができる。

### 《来場者状況》

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
イベント来場者	2,779,192人	2,657,256人	2,658,759人
観光来場者	41,449人	42,378人	42,159人
市民利用	53,794人	83,665人	81,828人
合計	2,874,435人	2,783,299人	2,782,746人

※平成25年度以降の市民利用は、キッズパーク（通常営業時来場者）及び諸室等単独利用を含む。

《イベント実施状況（平成26年度）》

イベント種別	利用日数	イベント名/内訳日数(日)	来場者数(人)			
			1日当たり	小計	種別計	
プロ野球	65	北海道日本ハムファイターズ戦(2014シーズン)	55	27,202	1,496,093	1,727,332
		北海道日本ハムファイターズ戦(2015オープン戦)	6	15,620	93,720	
		北海道日本ハムファイターズ戦(2015シーズン)	3	35,787	107,360	
		日米野球	1	30,159	30,159	
プロサッカー	18	Jリーグ コンサドーレ札幌戦(2014シーズン 土日祝)	12	12,246	146,946	244,377
		Jリーグ コンサドーレ札幌戦(2014シーズン 平日)	3	9,721	29,162	
		Jリーグ コンサドーレ札幌戦(2015シーズン)	2	14,488	28,975	
		日本代表戦	1	39,294	39,294	
アマチュアスポーツ	16	JABA北海道大会	4	281	1,123	34,280
		FIGHTERSジュニア王座決定戦(うち2日は他イベントと同日開催)	4	553	2,130	
		少年軟式野球	1	1,820	1,820	
		キリンサッカーフィールド	1	300	300	
		大学野球(札幌6大学野球)	1	924	924	
		「赤い羽根」ティーパー	1	4,400	4,400	
		ユニクロサッカーキッズ	1	4,271	4,271	
		アメリカンフットボール	1	1,000	1,000	
		コンサドーレカップ	3	4,437	13,312	
		札幌国際スキーマラソン	1	4,800	4,800	
		車椅子ソフトボール※駐車場利用	-	200	200	
コンサート	10	福山雅治	1	30,000	30,000	461,214
		SMAP	2	50,000	100,000	
		関ジャニ∞	1	50,000	50,000	
		ARASHI	3	53,738	161,214	
		BIGBANG	1	30,000	30,000	
		EXILE	1	50,000	50,000	
		東方神起	1	40,000	40,000	
コンベンション	8	宗教法人	3	12,730	38,191	84,129
		ヤマダ電機 家電フェア	2	15,000	30,000	
		国家試験	1	3,990	3,990	
		マイナビ就職EXPO	2	5,974	11,948	
自主(共催)イベント	7	6時間リレーマラソン	1	16,700	16,700	66,814
		体験型謎解きゲーム	1	3,127	3,127	
		ゴールデンマーケット	1	13,294	13,294	
		秋のスポーツバイキング2014	1	4,452	4,452	
		ふわふわアドベンチャー	3	9,726	29,177	
		わくわくサッカー教室(他イベントと同日開催)	1	64	64	
その他	8	北海道日本ハムファイターズファンフェスティバル	1	39,813	39,813	40,613
		CM収録	6	0	0	
		北海道日本ハムファイターズ開幕戦プロモーション	1	800	800	
イベント計	132					2,658,759
一般市民利用	25	時間貸し				
設営・撤去	41					
プロ野球等練習日	26					
合計	224	稼働率	61.4%			
場面転換	38					
再計	262	稼働率	71.8%			

※来場者数は、主催者発表数を記載。

※一般市民利用は、実利用日を記載。